

# GW三島に手づくり郷土賞

「松毛川『千年の森』プロジェクト」で再生した河畔林＝三島市御園で



## 河畔林を再生

### ベストプレゼン賞も

三島、沼津市境の松毛川(灰塚川)河畔林を再生させた三島市のNPO法人、グラウンドワーク三島(GW三島)の取り組み「松毛川『千年の森』再生プロジェクト」が2022年度の「手づくり郷土賞」(国土交通省主

催)に選ばれた。さらに、12月の受賞発表会で、全国17団体の活動発表の中から最優秀の「ベストプレゼン賞」に選定された。

松毛川河畔林は、放置竹林が拡大し、ごみが捨てられ荒廃していた。プロジェクトは1999年に始動。竹の伐採、ごみ拾い、木の植林を行い、伐採した竹は粉碎してチップにして再利用した。募金などで資金を集め土地も取得。野鳥が暮らすケヤキやエノキの雑木林を再生させた。活動は現在も続いている。

GW三島の渡辺豊博専務理事は「荒れ果てて、ごみだらけの土地が森らしくなり、新しい手づくりの郷土ができつつある。活動が評価され、ありがたい」と喜んだ。受賞発表会には、粉碎したチップやチップ内をすみかにしていたカブトムシの幼虫を持参。伐採した竹が生き物を育てる土に変わったことを示し、ベストプレゼン賞

につなげたという。  
【石川宏】